

平成29年度 特別支援教育推進事業まとめ

30.2月

期 日	内 容
H29. 4. 1	☆子ども総合相談センター専門カウンセラー4名を委嘱（県SCの3名を兼務、他1名） ☆田中小LD等通級指導教室に市費職員1名を配置し、複数体制化 ☆特別支援教育支援員の日々雇用支援員（登録制）を導入し、副学籍の受入れや緊急度の高い学級や児童生徒対応に柔軟に充てる。
4. 26	☆地域医療機関（信濃医療福祉センター）と行政関係課の連絡会に出席
4. 27	☆県LD等通級指導教室担当者会に出席
5. 1～5. 25	<u>就学に係る全校訪問 前期実施</u> （専門カウンセラー、LD等通級指導担当者も）
5. 16	☆市内幼稚園長、年長担任への就学に係る研修会に講師として出席
5. 16	<u>第1回特別支援教育コーディネーター連絡会</u> （第2回6.27、第3回8.31、第4回11.9、第5回30.1.19、第6回30.2.8）
5. 30	第1回諏訪地区特別支援教育co等連絡会（第2回30.2.22）
6. 9	<u>第1回岡谷市立小中学校における特別支援教育モデル運営協議会</u> 内容：本会の内容、計画立案
6. 6～7. 24	就学教育相談第1クール66名（第2クール10.3～11.30 48名、クール外37名）
6. 15	<u>第1回幼保小園長・校長懇談会</u> （第2回11.7） ★幼保年中児保護者へ就学教育相談のお知らせチラシ配布
6. 27	★子育て支援関係課長会議→（以後名称を「岡谷市子育て支援関係課連絡会議」とする）
7. 13	<u>第1回就学支援委員会</u> （第2回9.7、第3回10.17、第4回11.14、第5回12.14、第6回30.1.18）
8. 31	☆特別支援教育に関する研修会「発達障がい支援力アップ 出前研修」
9. 14	<u>第2回 岡谷市立小中学校における特別支援教育モデル運営協議会</u>
10. 6	★第2回岡谷市子育て支援関係課連絡会議
11. 29	<u>第3回 岡谷市立小中学校における特別支援教育モデル運営協議会</u>
12. 4	☆就学前ことばの教室担当者との懇談（来入児）
1. 10	★第3回岡谷市子育て支援関係課連絡会議
1. 15～1. 31	☆読み書きにつまずきのある低学年児童の参観と、指導助言 （LD等通級指導担当者）
2. 1～2. 28	<u>就学に係る全校訪問 後期実施</u> （専門カウンセラー、LD等通級指導担当者も）
2. 28	☆特別支援学校、特別支援学級保護者合同学習会「共育（共に育つ）懇談会」
2. 28	<u>第4回 岡谷市立小中学校における特別支援教育モデル運営協議会</u>

____は定例的な取組 ☆ここ最近定着している取組 ★本年度初の取組

1 今年度の取組状況

- ・複数の合理的配慮協力員活用による域内ネットワークの充実強化
- ・田中小LD等通級指導教室への市費職員配置
- ・合理的配慮に関する教職員への普及啓発
- ・市内全校でのユニバーサルデザイン化を目指した研修会の実施
- ・小学校1、2年生全員を対象に、読み書きに困難さのある児童への見立てと支援の検討
- ・副学籍交流の推進
- ・個別の教育支援計画・指導計画の岡谷市版様式統一
- ・子育て支援関係課連絡会議の開催
- ・幼保年中児保護者へ就学教育相談のお知らせチラシ配布

2 成果

- ・個別の教育支援計画や指導計画の市内小中学校における様式を統一し、適切な支援をするための全市的に統一したツールができた。
- ・幼保年中児保護者へ就学教育相談のお知らせチラシを配布し、早期からの支援を行うことができた。
- ・子育て支援関係課連絡会議を開催し、関係課の連携を強化し、課題等を話し合うことができた。

3 課題

- ・個別の教育支援計画や指導計画の市内小中学校における様式を統一したので、今後はこのツールを活用し、保護者との合意形成を実施していく。
- ・共生社会の実現に向け、地域や家庭に対し広く周知啓発を行っていく。
- ・個別の取り出し支援も必要だが、通常の学級においてどう支えるかに視点を置く。
- ・学年が上がってから不適応な状態で捉えられる前に、早期からの気付き、必要な支援を行っていく。
- ・来年度岡谷西部中学校にLD等通級指導教室が設置されるため、進学に際し通級児童をどのように送り出すべきか検討が必要。